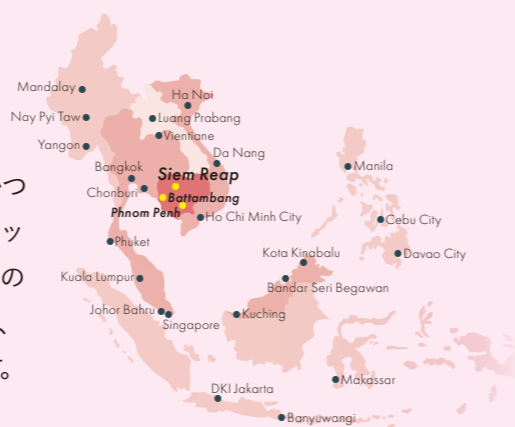


## ASEANスマートシティ・ネットワーク (ASCN)

ASEANスマートシティ・ネットワーク (ASCN) は、ASEAN加盟都市間でスマートかつ持続可能な都市開発の促進を目的に、2018年のASEAN会合で発足した協力プラットフォームです。ASCNは、技術の活用や官民パートナーシップの支援、都市課題への対応に向けた資金調達を通じて、市民の生活の質向上を目指しています。さらに、ASEAN諸都市間の連携を深め、経済成長と文化的理解の促進にも寄与しています。シェムリアップは、このプラットフォームのモデル都市の一つに選定されています。



## 38道路整備プロジェクト

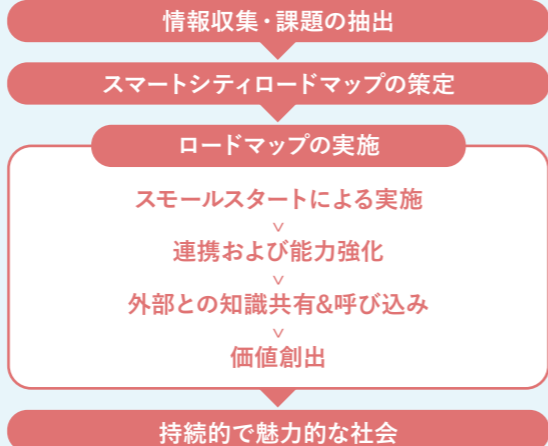
カンボジア政府が実施したシェムリアップ38道路整備プロジェクトは、州内のアクセス性向上とともに、スマート街路灯の設置などインフラ強化を通じて観光の促進に大きく寄与しました。この取り組みはスマートシティのビジョンと一致しており、観光客に優しい設備を備えた地域経済の拠点としてシェムリアップの魅力をさらに高めています。



## シェムリアップ・スマートシティ・アプローチ

シェムリアップのスマートシティ・アプローチは、人々の幸福向上に貢献する社会の構築と、SDGs (持続可能な開発目標) の達成を目指した包括的な取り組みです。このアプローチでは、まず都市開発における重要分野の特定と課題分析を行い、その後、分析結果を基にロードマップを策定し、それに沿って必要な施策を展開します。

施策の実施においては、「スモールスタート」の戦略を採用。産官学民が連携して得た教訓を、既往の課題解決や、より良い都市マネジメントに反映するプロセスを重視しています。施策の一環として、国内外への成果発信を積極的に行い、新たな外部参画を促進することで、国際観光都市としてのシェムリアップの新たな価値創出を図ります。



## シェムリアップ・スマートシティ・ロードマップ

シェムリアップ・スマートシティ・ロードマップは、スマートシティ構想のビジョンを明確にし、その実現に向けた戦略と具体的なステップを示す計画文書です。市民、民間セクター、政府関係者、開発パートナーの意見を反映して策定され、2023年3月にシェムリアップ州政府により承認されました。このロードマップは、関係者間の調整や進捗状況の共有を可能にする重要なコミュニケーションツールとして機能しています。つまり「生きた文書」として、社会の変化や新たなニーズに対応できるよう、更新が可能な設計となっています。



独立行政法人 国際協力機構 (JICA)  
社会基盤部

本資料は技術協力プロジェクト「シェムリアップにおける都市課題解決のためのスマートシティ・アプローチ実装プロジェクト」を基に作成されています。詳細はウェブサイト <https://www.jica.go.jp/oda/project/201903200/index.html> をご覧ください。



独立行政法人 国際協力機構 (JICA)  
〒102-8012 東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル  
Eメール: [imgge@jica.go.jp](mailto:imgge@jica.go.jp)

JICAは、技術協力、融資・投資協力、無償資金協力など、日本のODAを一元的に担う機関です。150以上の国と地域で活動し、約90の海外事務所を有しています。JICAの活動に関する詳細はウェブサイト [www.jica.go.jp/activities](http://www.jica.go.jp/activities) をご覧ください。

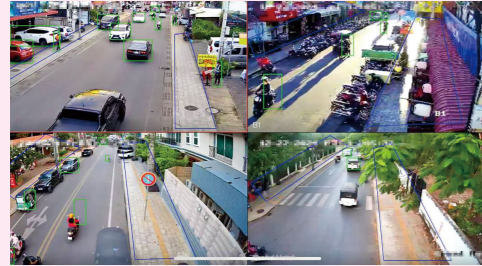
2025.Feb



# シェムリアップ スマートシティ プロジェクト



## 違法駐車モニタリング



市内に設置したセキュリティカメラと画像認識技術を活用し、長時間駐車している車両を特定して関係者へ通知する仕組みを導入しました。このシステムの導入により、違法駐車検知向上に繋がります。

## 行政文書マネジメント



行政サービスのデジタル化を促進する一環として、行政文書追跡システムを導入しました。このシステムは、政府内の文書処理プロセスを効率化し、その正確性と透明性を向上させることを目的としています。

## 都市間連携



シェムリアップは、他都市とのパートナーシップの強化を積極的に推進しており、スマートシティの先進的な取り組みで知られる日本の高松市との間で協力覚書 (MoU) を締結しました。

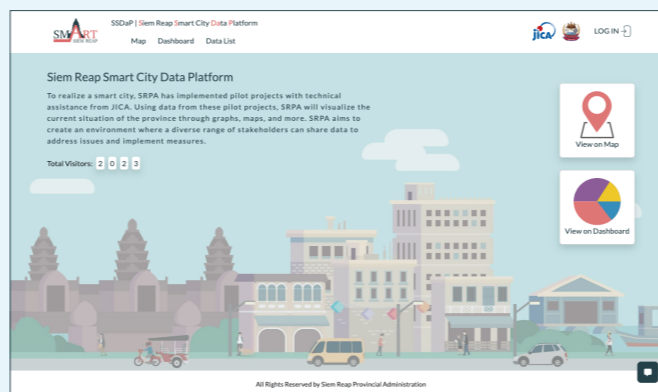


# シェムリアップ スマートシティ ビジョン

- FOR** 市民、観光客のために
- WITH** アンコール遺跡やクメール文化、自然を尊重し調和を図りながら
- BY** 技術をスマートに活用した都市課題の解決策を提供し
- TOWARD** 持続的で魅力ある社会の実現を目指す

2035年を見据えた「シェムリアップ スマート」のビジョンは、市民と観光客のために、文化遺産の保全と尊重を基盤に、適正技術の戦略的活用と人間中心の開発を通じて、持続可能で魅力的な社会を目指しています。このビジョンは、生活の質の向上、経済成長、持続可能な開発、回復力のある社会、環境保全、そして包摂性を推進するカンボジアの国家目標と一致しています。

## データプラットフォーム構築



シェムリアップ・スマートシティ・データプラットフォーム「SSDaP (エスダップ)」を構築しました。このプラットフォームは、散在する情報を一元管理し、都市が抱える課題に対して、データを活用した効果的な解決策を提供することを目的としています。



## 廃棄物収集運搬スマート化



ごみの収集作業の動きと時間を分析する研究を行い、その成果を基に、スマートクリーン・シェムリアップアプリを開発しました。このアプリの導入により、ごみ収集管理がリアルタイムで監視可能となり、収集業務と運営の効率化が実現しました。

## 環境モニタリング



大気質センサーをアンコール遺跡地区内に設置しました。これは、カンボジア政府と早稲田大学による共同活動を支援するもので、センサーと連携するオンラインモニタリングシステムにより、遺産地区の研究に寄与します。

## スマートシティ協議会



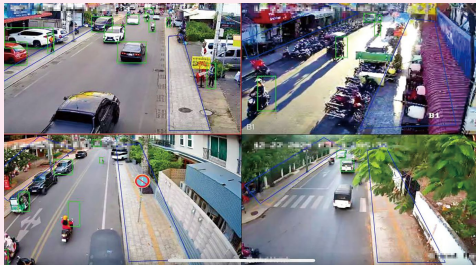
2024年に設立されたシェムリアップ・スマートシティ協議会は、公的機関、民間セクター、学術機関、そしてコミュニティを結集するためのプラットフォームです。この協議会は、スマートシティの取り組みを推進し、それぞれの連携と協力体制を強化する役割を担っています。



# シエムリアップ スマートシティ プロジェクト

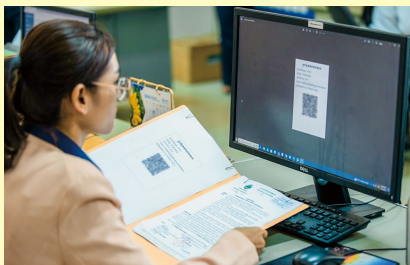


## 違法駐車モニタリング



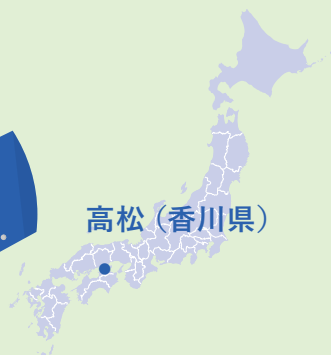
市内に設置したセキュリティカメラと画像認識技術を活用し、長時間駐車している車両を特定して関係者へ通知する仕組みを導入しました。このシステムの導入により、違法駐車の見逃しに繋がります。

## 行政文書マネジメント



行政サービスのデジタル化を促進する一環として、行政文書追跡システムを導入しました。このシステムは、政府内の文書処理プロセスを効率化し、その正確性と透明性を向上させることを目的としています。

## 都市間連携



シェムリアップは、他都市とのパートナーシップの強化を積極的に推進しており、スマートシティの先進的な取り組みで知られる日本の高松市との間で協力覚書 (MoU) を締結しました。

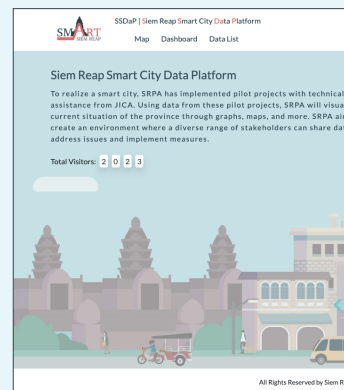


# シェムリアップ スマートシティ ビジョン

- FOR** 市民、観光客のため
- WITH** アンコール遺跡や自然を尊重し調和を
- BY** 技術をスマートに活
- TOWARD** 持続的で魅力ある社

2035年を見据えた「シェムリアップスマートシティ」は、市民と観光客のために、文化遺産の戦略的活用と人間中心の開発を推進し、持続可能な社会を目指しています。このビジョンは、経済成長、持続可能な開発、回復力、包摂性を推進するカンボジアの

## データプラットフォーム



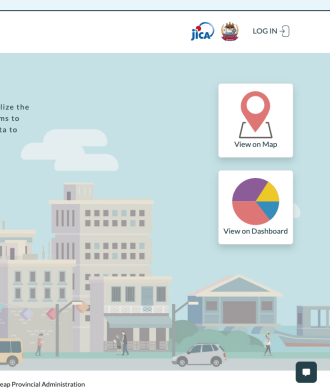
シェムリアップ・スマートシティ・データプラットフォーム (エスダップ) を構築しました。このプラットフォームは、都市に関する情報を一元管理し、都市が抱える課題を解決するために活用した効果的な解決策を提供する

# スマートシティ ソリューション

に  
メール文化、  
を図りながら  
用した都市課題の解決策を提供し  
社会の実現を目指す

「スマート」のビジョンは、市  
の保全と尊重を基盤に、適正技  
発を通じて、持続可能で魅力的  
ビジョンは、生活の質の向上、経  
力のある社会、環境保全、そして  
国家目標と一致しています。

## プラットフォーム構築



プラットフォーム「SSDaP  
プラットフォームは、散在  
る課題に対して、データを  
ことを目的としています。



## 廃棄物収集運搬スマート化



ごみの収集作業の動きと時間を分析する研究を行い、その成果を基に、スマートクリーン・シェムリアップアプリを開発しました。このアプリの導入により、ごみ収集管理がリアルタイムで監視可能となり、収集業務と運営の効率化が実現しました。

## 環境モニタリング



大気質センサーをアンコール遺跡地区内に設置しました。これは、カンボジア政府と早稲田大学による共同活動を支援するもので、センサーと連携するオンラインモニタリングシステムにより、遺産地区の研究に寄与します。

## スマートシティ協議会



2024年に設立されたシェムリアップ・スマートシティ協議会は、公的機関、民間セクター、学術機関、そしてコミュニティを結集するためのプラットフォームです。この協議会は、スマートシティの取り組みを推進し、それぞれの連携と協力体制を強化する役割を担っています。

## ASEANスマートシティ・ネットワーク (ASCN)

ASEANスマートシティ・ネットワーク (ASCN) は、ASEAN加盟都市間でスマートかつ持続可能な都市開発の促進を目的に、2018年のASEAN会合で発足した協力プラットフォームです。ASCNは、技術の活用や官民パートナーシップの支援、都市課題への対応に向けた資金調達を通じて、市民の生活の質向上を目指しています。さらに、ASEAN諸都市間の連携を深め、経済成長と文化的理解の促進にも寄与しています。シェムリアップは、このプラットフォームのモデル都市の一つに選定されています。



## 38道路整備プロジェクト

カンボジア政府が実施したシェムリアップ38道路整備プロジェクトは、州内のアクセス性向上とともに、スマート街路灯の設置などインフラ強化を通じて観光の促進に大きく寄与しました。この取り組みはスマートシティのビジョンと一致しており、観光客に優しい設備を備えた地域経済の拠点としてシェムリアップの魅力をさらに高めています。



## シェムリアップ・スマートシティ・アプローチ

シェムリアップのスマートシティ・アプローチは、人々の幸福向上に貢献する社会の構築と、SDGs (持続可能な開発目標) の達成を目指した包括的な取り組みです。このアプローチでは、まず都市開発における重要分野の特定と課題分析を行い、その後、分析結果を基にロードマップを策定し、それに沿って必要な施策を展開します。

施策の実施においては、「スモールスタート」の戦略を採用。産官学民が連携して得た教訓を、既往の課題解決や、より良い都市マネジメントに反映するプロセスを重視しています。施策の一環として、国内外への成果発信を積極的に行い、新たな外部参画を促進することで、国際観光都市としてのシェムリアップの新たな価値創出を図ります。

情報収集・課題の抽出

スマートシティロードマップの策定

ロードマップの実施

スモールスタートによる実施

連携および能力強化

外部との知識共有&呼び込み

価値創出

持続的で魅力的な社会

## シェムリアップ・スマートシティ・ロードマップ

シェムリアップ・スマートシティ・ロードマップは、スマートシティ構想のビジョンを明確にし、その実現に向けた戦略と具体的なステップを示す計画文書です。市民、民間セクター、政府関係者、開発パートナーの意見を反映して策定され、2023年3月にシェムリアップ州政府により承認されました。このロードマップは、関係者間の調整や進捗状況の共有を可能にする重要なコミュニケーションツールとして機能しています。つまり「生きた文書」として、社会の変化や新たなニーズに対応できるよう、更新が可能な設計となっています。



Check Here



独立行政法人 国際協力機構 (JICA)

社会基盤部

本資料は技術協力プロジェクト

「シェムリアップにおける都市課題解決のための

スマートシティ・アプローチ実装プロジェクト」を基に作成されています。

詳細はウェブサイト <https://www.jica.go.jp/oda/project/201903200/index.html> をご覧ください。

独立行政法人 国際協力機構 (JICA)

〒102-8012 東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル

Eメール: [imgge@jica.go.jp](mailto:imgge@jica.go.jp)

JICAは、技術協力、融資・投資協力、無償資金協力など、日本のODAを一元的に担う機関です。

150以上の国と地域で活動し、約90の海外事務所を有しています。

JICAの活動に関する詳細はウェブサイト [www.jica.go.jp/activities](http://www.jica.go.jp/activities) をご覧ください。



Website



Facebook